ガラパゴス諸島医療事情

(※2023年1月現在の情報です。)

1. 概要

ガラパゴス諸島の中で、人が住んでいるのは、サンタクルス島、サン・クリストバル島、イサベラ島、フロレアナ島です。これら4島には何らかの医療施設がある他、観光クルーズ船には、医務室を備え、医師を常駐させている船もあります。島内の医療に関する問題は、水道の水質が悪いこと、専門医の不足、医療設備・機材が不十分なことです。ただし、エクアドル本土でも、キト、グアヤキル、クエンカ等の主要都市を除く地方では、ガラパゴス諸島と同等の医療レベルにあると言えます。本土への緊急移送に関しては、2014年以降、海軍航空隊の医療専用緊急移送機が導入されています。

2. 飲料水

水道水からは大腸菌等が検出されており、飲用できるレベルにある島はありません。飲用のみならず、歯磨きやうがいにも、浄水器で濾過した水やボトル入りのミネラルウォーターを用いることをおすすめします。水道水で洗浄した生野菜や食器にも同様の危険があり、注意が必要です。観光クルーズ船の水は、水質検査が義務づけられており、安全度は高いと言えます。

3. 医療施設

住民のいる4島すべてに医療施設がありますが、入院施設があるのは、サンタクルス島とサン・クリストバル島の保健省病院のみで、イサベラ島、フロレアナ島にはありません。上記の保健省2病院以外で外来救急診療や血液検査を行っているのは、サンタクルス島の社会保障病院、赤十字、高圧酸素治療センター、公立保健センター、私立医療センター、およびイサベラ島の公立保健センター等です。他にも、4島それぞれに、少数ながら公立、私立の診療所や薬局があります。

4. 医療スタッフ

フロレアナ島以外の3島すべてに、内科医（家庭医、総合診療医を含む）、産婦人科医、歯科医がいますが、イサベラ島には、外科医、小児科医がいません。眼科医、精神科医、脳神経外科医、泌尿器科医、放射線科医、内視鏡医は、いずれの島にもいません。整形外科医、耳鼻科医、皮膚科医も少なく、専門医が圧倒的に不足しています。

5. 医療器材・医薬品

レントゲン撮影装置、心電図、超音波、モニター、人工呼吸器、除細動器、麻酔器は、フロレアナ島以外の3島すべてにあります。CTがあるのはサンクリストバル島の保健省病院のみで、MRI、X線透視装置、血管撮影装置、内視鏡、眼科用の検査・治療機器は、いずれの島にもありません。一般血液生化学検査は3島すべてで可能ですが、心筋梗塞の診

断に必要な心筋逸脱酵素の検査ができるのは、サンタクルス島の赤十字のみです。同島の保健省病院だけでなく、サンクリストバル島の保健省病院からも血液検体をここへ送って、検査を依頼しています。一般医薬品、注射薬、消毒薬、ガーゼ類等、島内に在庫のある医薬品の種類は限られています。また島内にある輸血の在庫は限られており、緊急輸血に十分な対応ができる状況にはありません。（もともとエクアドル国内にはO型以外の血液ストックは少ないです。）

6. 手術・治療

島内で行える手術は、急性虫垂炎、鼠径ヘルニア、帝王切開、創縫合、軽度の骨折等に限られます。それ以外の、開胸・開腹・開頭手術、心筋梗塞など血管カテーテル治療や、重症で集中治療が必要な場合は、通常、エクアドル本土のグアヤキルまで搬送されます。

7. 緊急移送

2014年に、島民も来訪者（含、外国人）も無料で利用できる、海軍航空隊の医療専用緊急移送機が導入されました。同機は、患者搬送専用で、人工呼吸器、酸素ボンベ、モニター、ストレッチャー等が装備されています。ECU911の救急本部が運用しており、移送の適応の判断は、個人の希望・依頼に基づくのではなく、同本部、保健省が行っています。ガラパゴス諸島から本土への緊急移送先は、グアヤキル空港かエル・オロ県マチャラ空港に限られ、キトまでの移送は行われていません。なお、サンタクルス島からの患者移送時に使用するバルトラ島の空港には照明設備が無いため、夜間の緊急移送はできません。病気・ケガの種類や重症度によっては、ガラパゴス諸島内では十分な医療を受けることができない可能性があるため、万一に備えて、十分な緊急移送費用をカバーした海外旅行保険に加入して行かれることを強くお勧めします。

ガラパゴス諸島における医療機関

1. サンタクルス島

ガラパゴス諸島のほぼ中央に位置する、2番目に大きな島。人口は最多で、クルーズ船の発着地やダーウィン研究所があることから、観光客が最も多いです。サンタクルス島に空港は無く、すぐ北にあるバルトラ島の空港から、本土のキトとグアヤキルへ定期便が出ています。ただし、照明設備がないため、夜間、飛行機の発着はできません。バルトラ島の空港からサンタクルス島の中心であるプエルト・アヨラの町まで、車と船を乗り継いで、通常、所要約1時間半、救急の場合は約45分です。同島に存在する医療施設としては、保健省の病院、社会保障病院（社会保険加入者が対象）、保健省の保健センター（総合診療科、歯科）、私立医療センター（総合診療科、産婦人科、小児科）、外来専門診療所（総合診療科、産婦人科、理学療法）、高圧酸素治療センター、赤十字病院があります。

救急内線 15

100030600～2千（保険の種類による）緊急の場合は24時間対応 05-252-0240

2. サンクリストバル島

ガラパゴス諸島の中で最も東に位置し、県庁所在地があります。島の中心地は南西端にあるプエルト・バケリソ・モレノで、港、空港、海軍基地があります。サンタクルス島から高速船で約2時間半、飛行機で30分。本土のグアヤキルから直行便があります。島内にある保健省の病院は、ガラパゴス諸島全体の中で最大、最新で、医療スタッフ、設備とも最も充実しています。島内には、他に、耳鼻科、循環器科、歯科のクリニックがあります。この島の赤十字では診療、検査、献血業務を行っていません。

救急内線番号 1802 又はオプション 4 ガラパゴス諸島全体で最大規模の保健省の病院。診療科は、内科、外科、小児科、産婦人科、整形外科、内分泌科、皮膚科、麻酔・集中治療、歯科。耳鼻科、循環器科は島内のクリニックに紹介。入院、手術、救急対応あり。外国人観光客の場合、最初は一般外来ではなく、必ず救急外来を受診するシステムになっています。

3. イサベラ島

ガラパゴス諸島で最大の島。サンタクルス島から高速船で西へ約2時間半。島の南に位置するプエルト・ビジャミルが中心地。島内で医療の中心を担うのは、保健センターですが、内科、産科、歯科のみです。市立クリニックは医師不足や設備により急患に対応できる体制にはなっていません。他に、薬局、内科クリニック、歯科クリニックがあります。

05-252-9181